

多種多様な仕事が集結 参加者全員が 五感で市内の産業を体感

秋晴れの中、活気に満ちあふれた「御前崎市大産業まつり」。
広報写真でイベントを振り返ります。

本市の一大イベント「御前崎市大産業まつり」が、11月24日と25日の2日間にわたり市役所周辺で開催されました。今回で14回目。

イベントは、事業者が商品を販売、展示することにより、それぞれの商品や取り組みを来場者やイベント参加者に知ってもらうことがねらいで毎年開催されています。来場者と事業者、事業者同士の交流も図られることにより市の産業がさらに発展していくことを目指しています。

今年も例年よりも多い150店が出店しました。参加者は、前日や当日朝早くからテント内に装飾を施したり、商品を運び込んだりして準備に汗を流していました。秋の日差しが暖かく、日中は汗ばむほどの陽気となった両日。会

場からは「このお茶おいしいから一杯飲んでって」「ウチのお店はこんな商品も売ってるんですよ」「おじちゃんと一緒にイス作ってみるか」「地元で採れた野菜、食べてみて」といった商品や仕事を紹介する会話や呼び込みの声がかれました。

来場者は2日間で延べ4万2千人。時間帯によっては、すれ違うことも大変なほどにぎわいを見せました。

各事業者が趣向を凝らして商品や仕事内容を発信した2日間。来場者を見て、聞いて、食べて、触れて、匂いを感じると、五感で市内の産業に触れました。来年もぜひ大勢の人にご来場いただき、市内の多種多様な仕事に触れていただきたいと思えます。

- ①子どもたちが実際にイス作りを体験
- ②③④⑤各事業者のブースには大勢の来場者が訪れ、買い物をしたり実演に見入ったりする姿が見られた
- ⑥子どもたちは重機や展示車両に目を輝かせ、実際に乗車するとうれしそうに記念撮影に応じていた。
- ⑦市民芸能発表がイベントに華を添えた
- ⑧事業者は趣向を凝らし自社製品をPRした

